

私の周りにはヤンデレしかいない

神威結月

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

気分次第で投稿

基本キャラ崩壊は当たり前

目次

これが私の日常だー？	1
休日つてなんだけ	5
かのちゃんと楽しい家デート？	8
紗夜と結月ちゃんの楽しいデート	13
こころと日菜との楽しいことをする？	18
結月の妹	21
結月ちゃんの1日	25
りんちゃんとの1日？	28
あれ、回りが大きく見える!?	31
友希那にリサ、ちよつと怖いよ	35
結月と凜の親が帰ってきた	38
番外編	
リサの誕生日	42
燐子の誕生日	46
友希那の誕生日	49

これが私の日常だー？

私の名前は一ノ瀬結月ゆづきです♪

私は最近悩みがありますそれは、

ガルパの子達に毎日キスやハグをよくされます。

今自分の部屋にいますですがなぜか友希那が私の部屋にいます

結月「ねー友希那何で私の部屋にいるの」

友希那「何いつてるのかしら結月、私たちは結婚を誓いあつたんじゃない」ギュー

結月「ちよつとなにいつてるかわからない」

友希那「なぜわからないのかしら」チャキ

結月「友希那さんその手に持つてる刀をおろしてください」ギュー

友希那「しかたないわね／＼」

結月「なんとかなったよかった」

リサ「おーい結月と友希那おはよう」ギュー

結月「リサおはよう」

友希那「ええおはようリサ」

リサ「結月とおはようのキスは☆」

結月「しないよ」ニコ

リサ「なんでしてクレナイノ」ハイライトオフ

結月「キスの代わりにハグ1分でどう」ニコニコ

リサ「仕方ないなく♪」ギューー

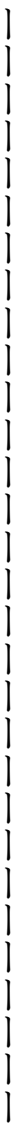
結月「リサしょうがないなく」ギユ

日菜「リサちゃんに、友希那ちゃんに結月ちゃんだー」結月に抱きつく

結月「日菜きゆうに抱きつかないで、びっくりしたでしょ」日菜をキヤツチ

日菜「結月ちゃんにキヤツチされてるんってきた」(≡▽≡)

結月「そうだね私もるんってきたよ」ヾ(・ω・*)なでなで



ひまり「結月先輩だ！」ギュー

結月「ひまりおはよう」ヾ(・ω・*)なでなで

ひまり「おはようございます♪」

モカ「結月先輩はようございませす」抱きつく

結月「モカおはよう」

蘭つぐみ巴「結月先輩おはようございませす」

結月「蘭つぐみ巴おはよう」ニコニコ

結月「今日の夜ご飯どうしよう？」

結月「今日はハヤシライスにしよう♪」

日菜「おじゃませす♪」

日菜「結月ちゃんの作ったハヤシライス美味しそうだね」ギュー

結月「そうだね、ところでその荷物なに」

日菜「結月ちゃんの家泊まりにきたのるんってきた♪」

結月「紗夜にいったの私の家に泊まるていったの？」

日菜「お姉ちゃんにちゃんといったよ」

結月「じゃ、ハヤシライス食べよつか」

日菜「結月ちゃんの布団で一緒に寝たい、いいでしょ♪」

結月「いいよじゃ一緒に寝よう、おいで日菜」

日菜「すごくるるんつてきたよ♪」

結月「そうだねじゃもう寝ようか」

日菜「結月ちゃんもう寝てる？じゃ結月ちゃん寝てるから、結月ちゃんたくさんキスしよすごくわしてきには、ルンツクルヨ♪」

休日つてなんだけ

結月「日菜朝だよ起きて」ユサユサ

日菜「結月ちゃんおはよう♪」

結月「うん、日菜おはよう」ゞ（・ω・*）なでなで

日菜「結月ちゃんに撫でられるの気持ちいい」フニャ〜

結月「日菜は、今日うは予定何もないの？」

日菜「うん今日はパスパレもないから1日結月ちゃんと一緒にいる♪」

結月「そうなんだだけど私は今日1人でいたいから帰ってくれたら嬉しいな〜」

日菜「ナンデナンデナンデナンデ ユヅキチャンはそういうこというのかな、まさか私のこと嫌いになっちゃったの、だからそういうことというの、私のこと嫌いにならないで、私結月ちゃんのゆうことなんでも聞くからワタシのこと嫌いにならないで、結月ちゃん」

結月「日菜のこと嫌いにならないから落ちついて」ギユ

日菜「結月ちゃん大好き♪」ギユー

紗夜「結月さん日菜がお世話になりました」

結月「日菜、紗夜が来たよだから日菜自分の家帰ろうか」ニコ

日菜「やだやだやだやだ」

紗夜「日菜わがままいわずに帰るはよ」

日菜「結月ちゃんが次のライブに来てくれたら帰る」

結月「パスパレのライブ行くから、帰りな日菜」ニコ

日菜「結月ちゃん絶対だからね♪ヤブツタラワタシなにスルカワカラナイヨ」

結月「わかってるよ♪」

紗夜「それでは、結月さん日菜がお世話になりました、結月さん次のRoseliaライブきてくださいね！」

結月「分かったよ」

紗夜「約束ですからね、破ったらワカリマスヨネ？」

結月「わかったから早く帰れ」(^^)

紗夜日菜「結月さん(ちゃん)また明日ね」

結月「紗夜日菜が帰ってやっと1人になれた！」

ピンポンー結月ちゃん早く開けて開けないと扉壊すよ!!

結月「もう誰？」

かのちゃん「結月ちゃんきちやたえへへ」

結月「花音きたのいま眠いから帰ってほしいなー」

かのちゃん「なんでソイウコトイウノカナユヅキチャン」チャキ

結月「花音様お許しくださいなにか1つだけできる範囲ゆうこと聞
くよ」ギュー

かのちゃん「しかたないなー／／」プシュー

かのちゃん「ふえええ、じゃあなにしようかな、今日1日結月ちゃんに甘えさせてほしいな、いいかな結月ちゃん」

結月「それくらいならいいよ?」ニコ

かのちゃん「じゃあまずハグして♪」

結月「おいで花音」ギュー

結月「月なにしてほしい?」

かのちゃん「じゃあ、次は膝枕して」

結月「いいよ」

—————

かのちゃん「結月ちゃん、カフェで話そう」

結月「準備するから待つてて」

結月「準備できたから行こう花音」

結月ちゃんの服装はリサとだいたい一緒だよ、考えるのがめんどくさいからじゃあなにいよホントホント嘘つかいな

かのちゃん「結月ちゃん可愛いね♡」

結月「花音ありがとう」

かのちゃん「ふええ、結月ちゃんそれじゃ行こう」

結月「そうだね行こうか花音」ニコ

—————

リサ「あれ結月と花音じゃあん」

友希那「あら結月に花音さんじゃあない」

結月かのちゃん「リサ(ちゃん)に友希那(ちゃん)どこに行くの?」

リサ「花音と結月どこに行くの」ハイライトオフ

かのちゃん「結月ちゃんとデートなの♪」ニコ

友希那リサ「私たちもついていいかしら(いいよね)」ハイライトオフ

かのちゃん「えーやだ」

かのちゃん「結月ちゃん逃げよう」

結月「え、あうん」

かのちゃんとおもしろい家デート？

結月「え、あうん」

かのちゃん「結月ちゃん、いそいで」

結月「花音、逃げたはいいけど、どこ行くの？」

かのちゃん「私の家だよ♪」

結月「花音家で何するの？」

かのちゃん「結月ちゃんが私を甘やかすの♪」「ギュー

かのちゃん「ここが私家だよ」

結月「おじやまします」

かのちゃん「結月ちゃん早く上がって上がって」

結月「うん」

かのちゃん「ふええ、最初なにしよかな」

かのちゃん「じゃあ、膝枕して結月ちゃん」

結月「はいはい、じゃかのちゃんおいで」膝を叩く

かのちゃん「うん、結月ちゃんの膝枕最高」フニヤッ

結月「花音表情がおかしいよ」

それから花音は結月に甘えているうちに結月が疲れて寝ている花音は結月の写真をたくさん撮りまくります

かのちゃん「ふええ、結月ちゃんの寝顔かわいくて襲いたい」

結月「あ、いつの間にか花音布団で寝てた」

結月「ごめん、花音の布団で勝手に寝て」

かのちゃん「大丈夫だよ結月ちゃん だってそのほうがユツキちゃんの匂いが私のカラダを満たしてクレルから」

結月「花音私もう帰るね」

かのちゃん「結月ちゃんまた、ワタシとアソンデネ」

結月「うんわかったよ花音」

結月「今からなにしようかな？」

結月「鬼○の刃でも見ようかな」

結月「○滅の刃読み終わったしなにしようかな」

結月「他の漫画読もうと」

結月「もう疲れたからもう寝よう」と

結月「今日は何しようかな？」

結月「うーんよし家でゴロゴロしよう」

ピンポンー

結月「はい」

Amazonですごく注文の品です、7500円になりますちょうどですねそれでは

結月「はいありがとうございます」

結月「私、なに注文したけ、ああ思いだした胡蝶し〇ぶコスプレセットを買ったんだった、早速着てみよう」

結月「うーんこんな感じかな、うんいいかんじ?」

ピンポンー 結月先輩私です

結月「この声はおたえ?」

おたえ「私です」

結月「おたえどうしたの?」

おたえ「結月先輩ハンバーグつくってください」

結月「いいよちようどお昼なににしようか悩んでたから」

おたえ「ほんとですか結月先輩」キラキラ

結月「それじゃあつくるから待ってて」

結月「おたえできたよ」

おたえ「結月先輩がつくったハンバーグおいしいです」

結月「それはよかったつくったかいがあったよ」ニコ

おたえ「結月先輩お昼ご飯美味しかったですまた来ていいですか？」

結月「いいよ」

結月「おたえも帰ったしゲームでもしよう」

私が今からやるゲームNFOというゲームを今からやるんだ、ちなみに私のレベルはね99レベルまあ結構強いほうなのか？

プレイヤーネームはヨミ

ヨミ「何のクエストやろうかな、うーんそうだな、ワイバーンを討伐でもやろうと♪♪」

あこ姫「ねえRinRinあの人ワイバーンと戦ってるよ」

RinRin「そうだねあこちゃん」

あこ姫「手助けに行こう」

RinRin「だけどあの人ワイバーン倒しちゃたよ」

ヨミ「ワイバーンなんとか倒せた、少し疲れた、ワイバーンの刀ゲツト♪♪」

あこ姫「その人名前なんて言うの？」

ヨミ「私の名前ヨミだよ、あなたたちの名前は？」

R i n R i n「私の名前はR i n R i nていいます」

あこ姫「我がなあこ姫ともうす」 作者はあまりあこのセリフを覚えてない

ヨミ「まさかとは思うけど、燐子とあこ？」

燐子「もしかして結月ちゃんですか？」

結月「そうだよ」

あこ「結月姉じゃあさフレンドになろうよ」

結月「いいよフレンドになろう」ニコニコ

結月「私もう終わりにするね」

あこ「あこも」

燐子「あこちゃんと結月ちゃんまたやりましょう」

結月あこ「うん」

結月「今日は色々大変だったから、疲れたからもう寝よう」

紗夜と結月ちゃんの楽しいデート

紗夜 「結月さん私とデートしましょう」

結月 「ええめんどくさい」

紗夜 「ユヅキさんナゼソコトイウンデスカ」ハイライトオフ

結月 「デートに行くから、目に光を戻して」

紗夜 「わかったなら結月さん早くデート行きますよ」

結月 「じゃあ紗夜どこに行きたいの？」

紗夜 「映画館に行きましょう結月さん」

結月 「いいけどなんの映画見るの？」

紗夜 「恋愛ものの映画です」

結月 「じゃあ見に行こう紗夜」

紗夜 「結月さんいい映画でした」

結月 「うんそうだね」

紗夜 「結月さんお腹がすいたのでお昼にしましょう」

結月 「じゃあファミレスにしよう紗夜」ニコ

紗夜「結月さんは何を頼んだですか」

結月「私はペペロンチーノを頼んだよ」

結月「じゃあ紗夜に一口あげるよはいあーんどう美味しかった」ニコ

紗夜「結月さん美味しかったです、特に結月さんの食べた後なのでとても美味しかったです♪」

結月「それは良かったね」

紗夜「じゃあ次は買い物いきましょう」

結月「分かったじゃあ買い物に行こう紗夜は、何を買うの？」

紗夜「私ですかそうですね、アクセサリーを買おうと思ってます、結月さんは何をかうんですか？」

結月「キーボードとマウスとヘッドホンを買おうと思ってる」

紗夜「結月さんはゲーム実況者ですか？」

結月「違うよただ今使っているキーボードとマウスとヘッドホンが壊れたから買おうと思ってたの」

紗夜「そうなんですネ」

結月「じゃあ私は買ってくるよ」

紗夜「はい気おつけて」

結月「紗夜いいやつ買った」(*ゝゝ*)

紗夜「それはよかったですね」

結月「うん、紗夜はいいアクセサリー買った？」

紗夜「はいとてもいいの買えました」

結月「紗夜よかったね」

結月「じゃあ紗夜私とのお揃いのペンダント買う？」

紗夜「ぜひお揃いの買しましょう♪」

結月「うんじゃあ、買いに行こう」

結月「紗夜今日は楽しかったよ」

紗夜「はい私もいい1日でした♪」

結月「紗夜またね」ニコ

紗夜「はい、また二人でイキマシヨウネ」

結月「友希那からラインだ、えーと今日昼、紗夜あーんしたでしょ
だつて、なんでわかったの？」

友希那「紗夜に自慢されたのよ、なぜサヨにあーんしたのカシラ、こ
んどワタシとネコカフェイキマシヨウカ、ちなみにキヨヒケンナイカ
ラ」

結月「分かったて返事しとこ」

結月「夜はなに食べようかな、うーん今日はチャーハンにしよう」

結月「暇だしゲームでもしようよと、ちょうど買った、キーボードとマウスとヘッドホンでもつかおうと」

結月「うんいいかんじ、今日は、フォ○ナでもやろうと」

結月「うん24キル優勝」

結月「NFOでもやろうとと」

結月「今日はロンギヌスを倒したし今日はもうおしまいと」

紗夜「今日の結月さん可愛いかったな、なにより結月さんが食べた後のフォークで食べたペペロンチーノは結月さんの味がして美味しかったなー後何より結月のペンダントをお揃いで買ったの一番嬉しかったな結月さんがワタシのものにナレバイイノニ」

日菜「へーお姉ちゃんと結月ちゃんお揃いのペンダント買っただけイナイイナ欲しいなユツキちゃんとイツシヨニウツツテルシャシンワタシもホシイナーお姉ちゃんダケズルイナワタシモアトデユツキチャンと二人デシャシントロウとルンツてクルヨ♪」

結月「隣にリサと友希那がなぜかいるし、まあいいか寝よやすみ二人とも」

友希那「ええおやすみ結月とりサ」

リサ「結月と友希那おやすみ」

「こころと日菜との楽しいことをする？」

こころ「結月私と、とーても楽しいことをしましょう」ギュー

結月「てかこころ急に抱きつくのどうにかならないの？」

こころ「ええ、結月を見ると急に抱きつきたくなるのよ」

結月「へーそうなんだ、ところで何するか決めてるの？」

こころ「決めてないは」

結月「こころは、何がしたいの本当に」

こころ「じゃあ結月と1日過ごしたいわ」

結月「楽しいことにはいるの？」

こころ「ええ、結月といる楽しいは」

結月「じゃあまず何するの？」

こころ「商店街楽しいことを探しましょうか」

結月「じゃあ、商店街が行こうこころ」

こころ「結月私お腹へったわ、なにか食べたいわ」

結月「なにが、食べたいの？」

こころ「私はじゃあ、あそこのお店行きましょう結月」

結月「あそこのお店ね分かったよ」

こころ「結月次は、たくさん遊びましょう結月」

結月「いいけど、何して遊ぶの？」

日菜「あれこころちゃんに結月ちゃんだー」

結月「日菜急に抱きつかないでくれるかな」

日菜「嫌だ♪るんってこないから」

結月「結月ちゃんとこころちゃんフタリデナニシテルノ？」

結月「こころいわく楽しいこと探らしい？」

こころ「だから日菜私と結月邪魔シナイでクレルカシラ」

日菜「嫌だ、だってるんってこないもん」

結月「三人で仲良くいけばいいじゃない？」

こころ日菜「それはいい考えだね（だわ）結月（ちゃん）」

結月「それならよかった？」

日菜「結月ちゃんところちゃん早く行こう」

「こころ「ええ、結月日菜の言う通りよ、早くいきましよう」

結月「でどこに行くの？」

日菜「じゃあ、私家に行こう♪」

「こころ「じゃあ、日菜の家に行きましよう、結月」

結月「日菜の家行くのはいいけど何するの？」

日菜「それはね、るるるんってくることかな♪」

結月「日菜家につくなり急に抱きつかないでこころも」

「こころ「結月じゃあ、キスしましよう」チュ

結月「キスするな、あとさりげなく胸をもないでくれるかな日菜」

日菜「結月ちゃんの胸柔らかいね♡」ハアハア

結月「日菜さん息が荒いよ、こころはなにしてるの？」

「こころ「なにて、結月の胸に顔を埋めているのよ」

結月「はあ、こころもうそろそろ帰るよ」

日菜「えー結月ちゃんまだ帰らないよ、じゃあ私とハグしていいよね？」

結月「いいけど」

日菜「じゃあ行くよえい」ギュー

結月「じゃあ、ハグしたから帰るね」

「こころ「結月早く帰りましよう」

結月「うん、じゃあ日菜またね」

日菜「結月ちゃんに抱きついたり胸ねもめて今日はよい1日だったなー最後にハグの写真とれたから私てきにはもう満足だねはあ結月ちゃんはあるなに可愛いだろう私のモノニシタイナーユツキちゃんイイニオイダツタナー」

紗夜「日菜はユツキさんとハグシタンダーナニヨリユツキさんにタクサンアマエタンダイイナイイナイイナヒナダケズルイズルイズルイズルイズルユツキサンニキスデモタクサンシマショウ」

結月「今日もハチャメチャな日だったな」

結月「もう疲れたからもう寝ようかな、いや今日はイベント最終日だからやってから寝ようしよう」

結月「ぶし10位いないにはいれたし、疲れたしもう寝よう」

—————

結月の妹「つい明日私の大好きな結月お姉ちゃんにやっとな会える楽しみだなー待っててね結月お姉ちゃん♪♡」

結月の妹

いやー急にインターホンなって見に行ったら私の妹が、いるんですよちなみに双子妹の名前は凜りん（17歳）私の妹だ、まだ普通の妹ならいいんですけど、なんせ凜はヤンデレ妹なんですよ、ちなみに今困ったことに凜にキスされました無理やり

結月「凜、急にきてキスはどうかと思うよ」

凜「何言ってるの結月お姉ちゃんに2年もあつてないんだよ、でもこれからは毎日結月お姉ちゃんをたくさーん堪能できるよ♡」

結月「これからて、言うことは一緒に住むの？」

凜「そうだよ♡」

結月「私そんなこと聞いてないよ？」

凜「だって結月お姉ちゃん、電話掛けてもでないんだもん」

結月「嘘、ホントだ沢山きてた」

凜「そういうことだから毎日よろしくね、結月お姉ちゃん♡」

結月「ところで凜学校どうするの？」

凜「私、花咲川だよ」

結月「私とは違う学校だね」

凜「うん、明日行くんだ」

結月「へーあ、私は学校だから行くね、くれぐれも私の部屋散らさないでね、分かった凜？」

凜「はい♡」

—————

友希那「おはよう結月」抱き

友希那「ユヅキオカシイワネアナタカラホカノオンナのニオイガスルノダケド」ハイライトオフ

結月「友希那ちゃんわ、ナニをイッテルノカナーワカラナイー」

友希那「あら結月とぼけるのねまあ、いいわ」

リサ「友希那さっきの話ホントウ」ハイライトオフ

友希那「ええ、リサホントウヨ」ハイライトオフ

リサ「ユヅキ今日友希那と結月の家いっいいい」

結月「ダメダメ本当にダメ」

友希那「なぜかしら」

結月「えーと、家が爆発したから」

友希那「そういう、嘘はいらなわよユヅキ？」

結月「あそうだった家が消滅したんだった」

友希那「結月、なにを隠しているのかシラ？ユヅキ？」ハイライト
オフ

結月「今日は、本当にダメ」(だつてきみたち、女ながいるのとかいうじゃん、凜も友希那とリサみたら、絶対ろくなことがおきない、だから家にだからよべない)

リサ「へーじゃあ何でダメだか、イエルヨネユヅキ？」

結月「、、、。言えない」

友希那「へーじゃあ、結月の家についてもイイワヨネ」ハイライト
オフ

結月「はい」

—————

結月「やっぱ行くのやめない？」

友希那「なぜカシラ？」

結月「いえナンデモナイデス」(凜家にいないでくれ頼む、お姉ちゃんを救うと思って)

結月「ただいま」

友希那「おじやまするわよ」リサ「おじやましーす☆」

凜「結月お姉ちゃんお帰りなさい♡」

友希那「結月、この子何かしら」ハイライトオフ

リサ「友希那言う通りだよユヅキ」ハイライトオフ

凜「結月お姉ちゃんこいつら誰」ニコハイライトオフ

結月「私の友達の友希那とリサだよ、凜」

凜「へー、結月お姉ちゃん友達ね友希那さんにリサさんてでしたけ？、結月お姉ちゃんとのあまーい時間がなくなるので早く帰ってください」ニコ

友希那リサ「断るわ」

結月「君たち家で暴れるなら出禁にするよ」ニコ

友希那「リサ凜」「ごめんなさいー」

結月「わかればいいよ」

凜「結月お姉ちゃん今日のご飯なに？」

結月「うーん凜の好きなパスタいい？」

凜「いいよ♡」

—————

凜「結月お姉ちゃん♪一緒にお風呂入ろう♡」

友希那「結月、あなたの妹はなにを言っているのかしら」ハイライ

トオフ

リサ「ユヅキ、ユキナのイウトオリダヨ」ハイライトオフ

凜「あなたたちまだいたんですか」

結月「凜そんなこといわない」

凜「はい結月お姉ちゃん」

結月「友希那とリサごめんね凜が」

友希那「いいわよ、その代わりに私とデート行きましょうね結月♡」

リサ「いいよお姉さんも許し上げる、こんどデート行こうね結月♡」

結月「分かったよ」

友希那「リサ帰るわよ」

リサ「分かった友希那帰ろう、じゃあね結月」

凜「あいつら帰ったことだし結月お姉ちゃんお風呂入ろう♡」

結月「いやだ」ニコ

—————オマケ—————

凜の自己紹介の時

凜「一ノ瀬凜です、私の好きなものは結月お姉ちゃんと一緒にいることです、後結月お姉ちゃんがとーても大好き」

紗夜「質問なんですけど、結月さんの双子の妹なんですか？」

凜「え、そうだけど」

紗夜「ええ、質問にこたえて頂きありがとうございます 結月さんの妹ナンテウラヤマシユヅキサンとお風呂入れてイイナ(ボソ)」ハイライトオフ

りんちゃん「凜さんイイナ結月ちゃんといっしょニゲームデキタリ
オフロトカイッショニオナジフトンデネテルンダロウナーイイナイ
イナイイナリンサンワタシモユツキチャントイッショニネタイ（ボ
ソ）」ハイライトオフ

凜「早く結月お姉ちゃん会いたいな（ボソ）」

結月ちゃんの1日

日菜「結月ちゃんおはよう♪」ギュー

結月「日菜おはよう」日菜をキャッチ

日菜「結月ちゃんに抱き着けてるんってくるね♪」

結月「そうだね、そろそろ離れてくれる日菜？」

日菜「やだるんって♪こないもん」

結月「じゃあ早く学校行くよそのまま、いいから日菜早く行くよ」

日菜「うん♪♪」

結月「友希那たちがくる前にね、行くよ日菜」

日菜「そうだね結月ちゃん♡」ギュー

結月「日菜学校ついたから、はなれてくるかな？」

日菜「嫌だ教室までこのままがいい」

結月「はあ分かったよ」

日菜「さすが結月ちゃんるんってくるね♡」

結月「はいはいるんってくるね」

日菜「結月ちゃんキスしていい♡」

結月「えーやだ」

日菜「じゃあ勝手にキスするね」チュツ

結月「がちでキスしやがったよ」

日菜「結月ちゃん私ものすぐくるんって来たよ」ハートの目

日菜「リサちーと友希那ちゃんがいるよ結月ちゃん」

結月「うんそうだね二人ともハイライトがないね」

リサ「日菜にユヅキオハヨウ（ユヅキアトデタクサンアマエサセテ

モラウネ（ボソ）」ハイライトオフ

友希那「ええ日菜にユヅキオハヨウ（ユヅキアトデワタシのユウコ

トキイテモラウワヨユヅキ♡（ボソ）」

結月「うん（ええいやだよ、聞きたくないよー、聞かないと、なに

されるか、わからないから、きくしかないのか嫌だー）」

日菜「結月ちゃんとは、違う教室だから、今から結月ちゃんにたく

さん抱きつくね♪♡」ギュー

結月「はあ、日菜おいで」

日菜「うん♡」

結月「日菜ヨシヨシいい子だね〜」

日菜「結月ちゃんものすごくなるんって来たよ♡」ハートの目

リサ「ユヅキアタシとのハグハ？」ハイライトオフ

結月「リサおいで」

リサ「うんユヅキダイスキ♡」ギュー

結月「リサもヨシヨシいい子だね〜」

リサ「じゃあ結月また昼にね☆」

日菜「結月ちゃん昼にまた会おうね♪」

友希那「じゃあユヅキキョウシツにイクワヨ」ハイライトオフ

結月「はいそうですね友希那さん」

友希那「じゃあ結月ホームルーム始まるまで時間あるからユヅキワタシトハグとキスシマシヨウカユヅキ♡」

結月「それは無理かなあ」

友希那「ナンデナンデナンデナンデナンデナンデナンデワタシハコンナニモアイシテルノニネーナンデナンデユヅキワタシヲキライにナラナイデオネガイオネガイオネガイナンデもイウコトキクカラユヅキキライにナラナイデ」

結月「嫌いにならないから、おいでハグしよう友希那」ギュー

友希那「ええそうね、結月大好き♡」ギュー& amp; チュー

今は昼飯を日菜とリサと友希那と中庭で食べてますそこででもヤンデレたちが私に口移し食べさせてこようとしています

リサ「結月あーん♡」

結月「リサ美味しいよー」

リサ「そうでしょなんせ結月の口に合うようにツクツタカラネ♡」

結月「あははは、ありがとう」

友希那「結月あーん♡どう美味しい?」

結月「うん美味しいよありがとう友希那」ニコ

友希那「そうそれならよかったは」

日菜「結月ちゃん私の弁当も美味しいよ、だから結月ちゃんあん♡」

結月「ありがとう、日菜のいうとおり美味しいよ」ニコ

日菜「じゃあこんどは口移しで食べさせあげるね♡」

結月「あはは遠慮するよ」

日菜「結月ちゃん早く口開けて待ってて」

結月「あーんまだ日菜」

日菜「どう結月ちゃん私の口の味は？」

結月「口移しは、もういいかな」

友希那リサ「「まだ私（アタシ）がのこってるわよ（てるよ）」」

結月「ええもう勘弁してえー」

その後はリサと友希那にも口移しされたよ

――

凜「結月お姉ちゃんおかえり♡」

結月「凜ただいま」

凜「結月お姉ちゃん一緒に風呂にはいろうよ♡」

結月「一人で入ってこい」

凜「結月お姉ちゃんじゃあ、今日一緒に寝てくれる？」

結月「それくらいならいいよ」

凜「結月お姉ちゃん大好き♡」ギュー（ハートの目）

結月「分かったからにはやくはいつてきな」

凜「はくい」

――

凜「結月お姉ちゃん早く寝よう♪」

結月「あうん分かったよ」

凜「結月お姉ちゃんお休みなさいああ、やつぱり結月お姉ちゃんイ

イニオイダイスキダヨユツキオネエチャン」ギュー

結月「お休み凜」ギュー（ゞ（・ω・*）なでなで）

りんちゃんとの1日？

りんちゃん「結月ちゃん、今日一緒に、どこかに行きませんか？」

結月「いいよりんちゃん♪」

りんちゃん「じゃあ、結月ちゃんまずは、ショッピングモールに行きませんか？」

結月「いいけど、何買いに行くの？」

りんちゃん「キーボードが壊れてしまって、買いに行きたかったんですよ」

結月「そうだったんだ、私も新しいキーボード買おうと♪」

りんちゃん「結月ちゃんもかうんですか」

結月「うん、予備でもってこうかな思ってた」

りんちゃん「そうなんです、じゃあ早速買いに行きましょう結月ちゃん」ニコ

結月「りんちゃん、たくさん買ったね」

りんちゃん「はい予備も買いました、結月ちゃん今から私の家にきませんか？」

結月「うーん、行こうかな」

りんちゃん「はい、早く行きましょう、結月ちゃん♪」

結月「りんちゃん家かあー久しぶりだなー」

りんちゃん「そうですね、前回結月ちゃん来たのが3ヶ月21時間と40分23秒だからね」

結月「りんちゃん覚えてて凄いね」(いや怖い、3ヶ月21時間と40分23秒とか普通分らないからね、りんちゃん怖い)

りんちゃん「結月ちゃんに褒められると照れちゃいます」(≡▽≡)

結月「りんちゃん何するの？」

りんちゃん「結月ちゃんがいるから、スマホでもやりましょう結月ちゃん」

結月「いいねりんちゃん、やろうス〇ブラ」

りんちゃん「さすが結月ちゃん、強いですね」

結月「そんなことないよ」(≡▽≡)

りんちゃん「そうでしょうか？結月ちゃんなぞこんな可愛いでしょうか結月ちゃんを褒めたときの顔カワイイカタツナ」

結月「りんちゃん、眠いからベット借りるねー」

りんちゃん「結月ちゃん寝ちやたな、結月ちゃん寝顔もカワイイナナンデユヅキチャンハコンナニモカワイイノデシヨウカ？」

結月「りんちゃんありがとうよく眠れたよ」

りんちゃん「結月ちゃん寝顔可愛いかったですよ♪」

結月「恥ずかしいこと言わないでよりんちゃん、じゃありんちゃん帰るねじゃあね」

りんちゃん「結月ちゃん気お付けて帰ってくださいね」

結月「うん」

隣子「今日のユヅキチャンカワイイカタツタキヨウノベットハユヅキチャンノニオイツツマレテテシアワセデスユヅキダイスキダイスキダイスキダイスキダイスキダイスキダイスキユヅキチャンノナシデハモウイキテイケマセンユヅキチャンモオナジキモチデスヨネ」ハイライトオフ

結月「うーん今寒気がしたな」

凜「結月お姉ちゃんどうしたの？」

結月「何でもないよ」

凜「それならいいけど、でき結月お姉ちゃんいっしょにお風呂入ろう♡」

結月「断る一人ではいりなさい」

凜「結月お姉ちゃんのケチ」

結月「凜うるさいよ」ニコ

凜「ごんなさい」

結月「分かればいいよ」

凜「結月お姉ちゃん一緒に寝よう♪」

結月「今日は特別に一緒に寝てあげるよ」

凜「わーいありがとう結月お姉ちゃん大好き♡」

結月「はいはい分かったから寝るよお休み凜」

凜 「結月お姉ちゃんお休みなさい♪」

あれ、回りが大きく見える!?

結月「あれ、なんか回りが大きく見えるなんでだ、とりあえず鏡でも見よう、これは、夢かな私小さくなってる!？」

結月「今日は土曜日だからあいつらに、会うことはないから、今日1日家にずっといればいいじゃん、うんそうしよう」

凜「結月お姉ちゃん入るよ」

結月「凜今は、てか部屋に入らないで」

凜「結月お姉ちゃん入るね?」

結月「今はダメー」

凜「結月お姉ちゃん小さくなって可愛い♡結月お姉ちゃん抱きしめていい?」ギュー

結月「許可とる前に抱きしめてるじゃん」

凜「結月お姉ちゃん気にしない気にしない」

結月「てか、早く離せ凜」

凜「えーやだ」

結月「私は今日この部屋から、一步もでないで決めたんだ」

凜「はいはい結月お姉ちゃん分かったから早く部屋から出ましようね」

結月「嫌だー☆H A ☆N A ☆S E ☆」

凜「結月お姉ちゃん諦めて♪」

結月「嫌だー」

凜「うん♪小つちやい結月お姉ちゃんも可愛いよ♡」

結月「私出かけてくるから」

凜「ええ、待って私も行く」

結月「ただ、公園に行くだけだよ」

凜「分かったよ気お付けて」

結月「うん（なんとか凜から逃げ出すことはできた）」

結月「公園にきたのはいいけどなにしよう?、あ猫だ抱っこしよう♪」

結月「猫抱っこしたら眠くなっちゃった少し寝よう」

友希那「全く結月はどこにいるのかしら、あれはにゃんちゃんとおつちやい結月かしら？」

友希那「あなた、名前なんていうの？」

結月「えーと西園寺さやていうの（やばい友希那だどっさだから西園寺さやていったけどどうしようとりあえず騙そう、そうしよう）」ニコ

友希那「さやていうのね、私は友希那ていうのよろしくさや（へーそれで私をダマスキカシラカワイイワネユツキ）」

結月「よろしくね友希那お姉ちゃん♪」

友希那「ええ、よろしくね結月」ハナヂタラー

結月「え、結月でだれ？（あれー、なんでばれたんだ）」（———）

友希那「結月の匂いで分かったわよ」キリ

結月「心の声を読むな、あ」

友希那「やっぱり結月だったのね」抱き

結月「離せ友希那」

友希那「友希那お姉ちゃんて言ってくれたらおろしてあげるわよ」

結月「はあ、友希那お姉ちゃんおろしてお願い」上目づかい

友希那「仕方ないわね」ハナヂタラー

結月「ふう、やっとおられた」

友希那「結月のこの可愛さまさに天使いえ、女神ね」

結月「今のうちにどこかに、行こうと」

友希那「あれシヨタ化した結月がないわどこにイツタノカシラ」

ハイライトオフ

リサ「あのちっちゃい子結月に、似てるようなよし、話しかけて見よう☆」

リサ「君なんていう名前なの（この匂い結月の匂いにそっくりてかこれはもうユツキダネ♡）」

結月「私の名前は西園寺さやていうのよろしくね♪（げ、今度はリサじゃん）」ニコニコ

リサ「私の名前は今井リサです☆よろしくさや」抱き

結月「よろしくリサお姉ちゃん♪（リサも抱っこしてきたよ、早く

おろしてくれないかな)「ニコニコ」

リサ「この抱き心地はやっぱり結月だよ♡(ちっちゃい結月可愛いもう天使、いや大天使だね!)」

結月「私と分かったならおろせ」

リサ「ええ、じゃありサお姉ちゃんていつてくれたらおろしてあげるよ☆」

結月「リサお姉ちゃんおろして」上目遣い

リサ「これが大天使いや女神結月だなんて破壊力」ハナヂタラー

結月「リサがハナヂ流して倒れたから今のうちに、行こうと」

リサ「アタシとしたことがあまりの可愛いさに倒れてしまった、あれ結月がいなくてっかー逃げちゃったんだユヅキ♡」

結月「いま寒気がした、もう家に帰ろうと」

日菜「るるんっ君るんっってくるね、私の名前は氷川日菜て言うのよろしくね♪」

結月「よろしく日菜お姉ちゃん、私の名前は西園寺さやていうんだよろしく(今度は日菜か、なんとかして逃げよう)」

日菜「君の匂いから結月ちゃんの匂いするんだけど、抱いてもいい？」抱き

結月「えっともう抱いてるよね?(なんでこいつらわ、私の匂いでわかるんだよ怖いわ)」

日菜「うーんこの柔らかさあとこの匂いは、やっぱり君結月ちゃんだよね?」

結月「結月誰それ?(なんで日菜は抱きしめて私て分かったんだ、怖いんだげど)」

日菜「ユヅキチャンウソハヨクナイヨ」ハイライトオフ

結月「すいません嘘つきましたごめんなさい」

日菜「やっぱりそうだよね、にしても結月ちゃんちっちゃい時の姿もるるんっってくるね♪」

結月「うんそうだねるるんだね」

日菜「結月ちゃんはなんでこんなにも可愛いのか♡」ハナヂタラー

結月「日菜がなぞにハナヂ出した、もう帰ろう」

日菜「あの可愛いさは女神だね」ドサ

凜「結月お姉ちゃんお帰りなさい、結月お姉ちゃん戻ったね」

結月「よかったー」

凜「私のはあのままですよよかったけどね」

結月「嫌だよ」

「……………」一ノ瀬家の設定……………」

一ノ瀬家は世界4大トップ財閥弦巻財閥よりも大きい

一ノ瀬如月 結月と凜のお父さん、結月、凜二人のことは同じくらい

い好き、まとも？

一ノ瀬奏^{かなで} 結月と凜のお母さん、結月と凜のことは同じくらい好

きだが、結月のことはちよー大好き、結月のこととなると暴走する

一ノ瀬結月^{ゆづき}家族は大好き、結月はオッドアイ、ちなみにプロゲー

マー

一ノ瀬凜^{りん}結月のことが大好き過ぎるこ

こんな感じかなー 一ノ瀬家は賑やかだね（白い目）

友希那にリサ、ちよつと怖いよ

結月「今日はなにしようか迷うな〜」

結月「うーん、外で猫と遊んでこようと」

結月「やつぱり猫は可愛いな〜」

友希那「あら結月じゃない、こんなところで会うんなんて運命ね♡」

結月♪♡」

結月「あ、友希那こんなところで会うんなんて奇遇だね♪」

友希那「今から、結月の家についていいかしら?」

結月「え、ごめん今は、ちよつと」

友希那「なぜダメナノカシラ」ハイライトオフ

結月「えつとあそう友希那の家に行きたいな〜と思って」

友希那「そうだったのね、それなら早くいつてくれればよかつたのに」抱き

結月「あはは、ごめんね?」

友希那「それじゃあ私の家に行きましょうか結月♡」

結月「うん、じゃあ行こう」

リサ「結月と友希那じゃあん、なにしてるの二人で」

友希那「リサじゃない、これから結月と私の家に行くのよ」

リサ「それ、私も行っていいかな友希那」

友希那「なんでかしら」

リサ「ええ、いいじゃん結月もいいでしょ」ニコ

結月「えーと(どうしよここでいいよていうと、友希那が不機嫌になって監禁されそうだし、ここでダメというとりサも不機嫌になって依存させようとしようとしそうだし、なんか今あの二人は何か言い合っているし、よし逃げよう)」

友希那「あら結月がいけないは逃げたのねいいわそんなに、ワタシト鬼ごっこしたいのね♡」

リサ「え、ナンデナンデナンデナンデナンデナンデナンデナンデナンデユヅキがないのワタシと鬼ごっこがしたいのかそつかそつかユヅキは、ワタシとソンナニアソビタイムダネ♡」

結月「ここまでくれば大丈夫かな？」

友希那「結月今度はかくれんぼがしたいのねいいわよ♡」

リサ「《font:u26》ユヅキハヤクデテコナイトワタシナニスルカワカラナイヨ《font》」

結月「なんで、友希那とリサいるの、てかなんで場所が分かるんだよ怖いわ」

友希那「ここから結月の匂いがするはね、ここかしら結月♡」

リサ「《font:u26》ユヅキココニイタンダネ♡《font》」

結月「あれなんで、友希那とリサもう近くまで来てるでしょう、あそうだ私が逃げればいいや、うんそうしよう」

結月「なんか、ちよつと肩が痛いな（《font:u26》ユヅキドコニイクノカシラ《font》）えなんでもう友希那とリサがいるの」

友希那「愛の力ヨユヅキ♡」ハイライトオフ

リサ「そうだよユヅキ愛の力ダヨ☆」ハイライトオフ

結月「あはは、ねえ友希那とリサそろそろ手はなしてくれないかな」

友希那「手を離れたらユヅキニゲルデシヨ」ハイライトオフ

リサ「ユヅキユキナイウトオリダヨ」ハイライトオフ

結月「わかった、逃げないから手離して」

友希那「結月それは《font:u26》ホントナンデシヨウネ？

《font》」

結月「本当だから離して」

リサ「《font:u26》ユヅキウソツイタラワカルヨネ《font》」

結月「はい、逃げないので手を離してください」

友希那「分かったは結月のことを信じるは、結月もしニゲタラ《font:u26》ワタシトズウトイッショウイテモラウカラネ♡《font》」

リサ「結月の言葉信じるよ☆もしニゲタラ《font:u26》ワタシナシデハイキラレナイヨウニスルカラネ♡《font》」

結月「うん分かったから逃げないから、友希那の家に行こね？」

友希那「結月そういうのなら分かったは」

リサ「そうだね、じゃあ友希那の家に行こう☆」

結月「うん」

—————

友希那「じゃあ結月一緒に寝ましょう」ニコ

リサ「結月私とももちろん、寝てくれるよね」ニコハイライトオフ

結月「はい、一緒に寝させてもらいます」

友希那「なら決まりね」

リサ「じゃあ結月寝よかく」

結月「うんそうだね」

友希那「それじゃあお休みなさい結月」

リサ「それじゃあお休み結月」

結月「二人ともお休み」

結月と凜の親が帰ってきた

結月「あ、お父さん」

如月「うん結月久しぶりだね」

結月「うん久しぶりお母さんは仕事？」

如月「そうだよ、今日は結月会いに来たんだよ、奏は今日の昼頃来ると思うよ」

結月「そうなんだ」

如月「あ、凜は元気かい？」

結月「うん元気すぎるけどね」

如月「ははそれならよかった」

2時間後

凜「お姉ちゃんただいまー」

結月「あ、凜おかえり、お父さんいるよ」

凜「あ、パパ久しぶり」

如月「凜久しぶりだね」

凜「パパ ママは？」

如月「もうすぐ帰ってくると思うよ」

奏「ああ仕事疲れた、私の可愛い結月ちゃんと凜ちゃんはどこ？」

如月「凜なら奏の後ろにいるじゃないか」

奏「あ凜ちゃんただいま」抱き

凜「お母さんお帰り」抱き

奏「あ結月ちゃんただいま♥」抱き

結月「お帰りお母さん」抱き

奏「今日の夜ご飯は私を作るは」

結月「お願いしてもいいかなお母さん」

奏「私にまかせなさい」

如月「結月さつき家に帰る途中で白い髪の子が結月の名前を言っていたような気がした」

奏「ああその子なら私も見たわよ」

結月「へえそうなんだ」

ピンポン

如月「はーい君は誰だい？」

友希那「私は湊友希那と言います」

如月「へー友希那ちゃんて言うんだ僕も自己紹介しないよね、僕の名前は一ノ瀬如月よろしく」

友希那「あよろしくお願いします、結月さんのお兄さんですか」

如月「違うよ僕は結月のお父さん」

友希那「若いからてつきり、結月さんのお兄さんだと思いましたよ」

如月「ハハありがとうございます、友希那ちゃんは確かRoseliaと言うバンドだよ」

友希那「はいそうです」

如月「うちの社員が友希那ちゃんのファンらしくって嫌ならいいんだけどもし良かったらサインくれないかな」

友希那「いいですよ」

如月「ありがとうございます、良かったら家でご飯食べてくかい？」

友希那「ええいいんですか」

如月「うんいいよ奏張り切りすぎて作り過ぎると思うし」

友希那「ならお言葉に甘えて」

如月「あ結月なら二階にいると思うよ」

友希那「はい分かりました」

如月「奏ご飯作りはどうだい？」

奏「それが気合入れ過ぎて作りすぎちゃった」

如月「そうそう友希那ちゃんて子が今家に来たよ」

奏「友希那ちゃん、Roseliaでバンドの子？」

如月「そうそう」

奏「友希那ちゃんいれたら丁度ぴったり」

如月「丁度なんだね」

奏「その友希那ちゃんは？」

如月「友希那ちゃんなら今結月の部屋にいると思うよ」

奏「そうなのね、随分と仲がいいのね」

如月「そうだね」

結月視点

結月「ご飯出来るまで何しようかな」

ガチャ

結月「誰？」

友希那「あら結月じゃない奇遇ね」

結月「ねえ何で友希那が居るのかな」

友希那「あ、それならお義父さんに入れてもらったのよ」

結月「何かお義父さんの字違くない」

友希那「気のせいよ」

結月「ならいいけど」

奏「結月ちゃんご飯出来たわよ」

結月「うん今行く」

友希那「結月早く行きましょう」

結月「そうだね」

リビング

奏「君が友希那ちゃんよろしくね、私は奏よ」

友希那「はいよろしくお願いします」

奏「あ友希那ちゃんは結月ちゃんのこと好きなの？」

友希那「はい結月さんのことは世界一いや銀河一大好きです」

奏「そうなのね、結月ちゃんのこと好きなのね、フフよかったわ結

月ちゃん」

結月「ハハそうだね私も（友達として）好きだよ」

友希那「私も結月のこと大好きよ（恋愛的な意味）」

凜「私もお姉ちゃんのこと大好きだよ（恋愛的な意味）」

結月「私も（妹として）好きだよ」

奏「皆仲がいいわね」

如月「そうだね」

20分後

結月「今日友希那泊ってくるの？」

友希那「ええそのつもりよ」

結月「そうなんだね」

友希那「結月今日一緒に寝ましようか」

結月「ええやだ」

友希那「結月何か言ったかかしら？」

結月「イエナニモイツテマセン」

友希那「ならいいわ」

結月「あ玄関行つてくるね」

友希那「ええ気お付けて？」

玄関

結月「お父さんとお母さん気お付けてね」

凜「パパとママ気お付けて」

如月「うんまた来るよ」

奏「結月ちゃんと凜ちゃん必ずまた来るからね」

結月「うん楽しみに待ってるお母さんとお父さん」

凜「私も」

5分後

凜「お姉ちゃん一緒に寝よ♪」

結月「明日らしいよ」

凜「言ったからねお姉ちゃん約束だよ」

結月「はいはい分かったよ」

友希那「結月早く一緒に寝ましようか」

結月「うんそうだね、お休み友希那」

友希那「ええお休み結月」ギユ

番外編

リサの誕生日

結月「リサ誕生日おめでとう」

友希那「リサ誕生日おめでとう」

紗夜「今井さん誕生日おめでとうございます」

燐子「リサさん誕生日、、、おめでとうございます」

あこ「リサ姉誕生日おめでとう！」

リサ「ありがとう皆」

友希那「それじゃありサ私からカチューシャをあげるわ」

リサ「友希那ありがとうこれ欲しかったんだよね」

紗夜「私から今井さんにネックレスをプレゼントです」

リサ「ありがとう紗夜」

あこ「リサ姉これはあことりんりんからだだよ！」

燐子「あこちゃん、、、選びました、、、気に入ってもらいましたか？」

リサ「うん燐子とあこありがとうね、とても気に入ったよ☆」

結月「リサ選んで頂戴」

リサ「結月何かな？」

結月「私と出かけるか、私を今日だけすきにしていいよどっちがいい、リサ？」

リサ「そんなの結月を今日だけすきなだけ堪能するよ」

結月「やっぱりそうきたか、ハアいいよ」

友希那「う、許し難いところだけど今日はリサの誕生日我慢するしかないわね」

紗夜「仕方ありません今日は今井さんの誕生日です、今井さんの言うこと今日は聞きましょう」

燐子「ホントは嫌ですけど、、、今日は譲ります」

あこ「あこ嫌だけどリサ姉の誕生日だから譲る」

結月「私も嫌だけど今日はリサの誕生日だから我慢しよう今日我慢

すれば後は自由だ」

リサ「いや、お姉さん嬉しいよ」ギュー

結月「じゃあ、リサ何して欲しい？」

リサ「それらな結月まず膝枕して」

結月「いいよ、リサおいで」ニコニコ

リサ「うん♪」

結月「リサどう、気持ちいい？」

リサ「うん、結月気持ちいいよ」ハートの目

友希那「リサが羨ましいわね私も誕生日のとき、結月にやってもらいましうか」

紗夜「ええ湊さんの言う通りね私のときもそうしてもらいましうか」

あこ「りんりんリサ姉羨ましいねあこのときもそうしてくれるかな、結月姉」

燐子「そうだねあこちゃんいいなりサさん私も誕生日とき結月ちゃんに同じことしてもらおう♪」

リサ「私幸せだよ結月♪」

結月「そう、ならよかった」

リサ「結月次はデート行こう♪」

友希那「リサ流石にそれはないんじゃないかしら」

紗夜「ええ湊さんの言う通りですよ今井さん」

いや二人とも怖いんだけど、二人の顔から青筋うかんでるよどうしよう

結月「友希那に紗夜も落ち着いてね、今日はリサの誕生日だからゆるしてあげていいでしょ友希那と紗夜」

友希那「そうね今日は許してあげるわ結月その代わり今度私の誕生日のときリサ同じことしてもらおうよ」

紗夜「分かりました私も今井さんにしたことやってもらいますからねいいですか結月さん」

結月「分かったよ友希那と紗夜」

リサ「それじゃあ結月早く行こう」

結月「じゃあ、友希那に紗夜に燐子にあこ行ってくるね」
4人「うん、気おつけて」

リサ「それじゃあ結月、まずは映画行こう」

結月「いいよ何の映画？」

リサ「うーんとね、天〇の子て言う映画」

結月「そうなんだ」

リサ「ほら結月早く行くよ」

結月「分かったから引つ張らないで」

リサ「よかったね天〇の子」

結月「そうだねリサ」

リサ「結月今度は服見に行きたい」

結月「いいよじゃありサ行こう」

リサ「ねえ結月今試着した服と前試着した服どっちがよかった？」

結月「うーん今試着してる服の方が可愛いよ」ニコ

リサ「私これの服買ってくる」

結月「うん、気お付けてね、さてリサは服を買いに行った事だし、私もリサにあげるピアスでも買ってこようと、私と同じのでいいか」

リサ「結月待った？」

結月「ううん待ってないよりサ」

リサ「結月帰ろうか」

結月「そうだねリサ」

リサ「結月今日はありがとうね、今年の誕生日めちやくちや嬉しかった」

結月「それならよかったよ、リサはい私からの誕生日プレゼント」

リサ「えいいの結月ありがとう、結月あけていい？」

結月「いいよりサのだからね」

リサ「わあーピアスだ、これ結月の付けてるピアス？」

結月「まあそんな感じかな、喜んでもらえたかな？」

リサ「うん、結月嬉しいありがとう」抱き

結月「急に抱きつかないでびっくりするでしょ」

リサ「結月ありがとう一生着けとくね♪」

結月「たまにはほかのピアス着けたらいいんじゃない」

リサ「結月お願いがあるけどいいかな?」

結月「何リサ?」

リサ「今日結月と一緒に風呂入ってもいい?」

結月「えやだ」

リサ「《font:u26》ユヅキキヨウタシカユヅキヲ1日スキニ
シテイインデショ《font》」

結月「そうだった、いいよ」

リサ「決まりそれじゃあ結月早く帰ろう」

結月「ハアそうだねリサ」

リサ「じゃあ結月最後のお願い一緒に寝て」

結月「いいよ」

リサ「それじゃあ結月の布団に行こう」

結月「分かったよ」

リサ「それじゃあ結月おやすみ」

結月「そうだねリサおやすみ」

凜はリサが幸せそうに結月と寝てることに嫉妬をしたが、今日はリサの誕生日なので仕方なく諦めた、ちなみに凜はリサに手作りケーキをあげたよ

燐子の誕生日

結月「燐子誕生日おめでとう〜」

友希那「燐子誕生日おめでとう」

リサ「燐子誕生日おめでとう〜」

紗夜「白金さん誕生日おめでとうございます」

あこ「りんりん誕生日おめでとう!」

燐子「皆さん、ありがとうございます」

リサ「燐子じゃあ座って待ってて〜」

燐子「分かりました」

紗夜「白金さん」

燐子「どうしましたか、、紗夜さん」

紗夜「これをどうぞ」

燐子「これは、、ピアスですか?」

紗夜「ええそうです、私と湊さんで選びました」

友希那「紗夜と選んだわ」

燐子「ありがとうございます、、紗夜さん友希那さん、、嬉しいです」

リサ「燐子これはアタシとあこからだよ〜」

燐子「キーボードですか?」

あこ「うんりんりん、だつて欲しい言つてたから、リサ姉と一緒に買ったんだよ」

燐子「ありがとうございます、、あこちゃん リサさん、、嬉しいです」

結月「私からだよ〜」

燐子「ネックレスですか?」

結月「よく分かつたね〜そうだよ、ネックレス」

燐子「結月ちゃんありがとうございます、嬉しいです」

結月「喜んでもらつて嬉しいよ〜」

燐子「結月ちゃんお願いあるんだけど、、いいか?」

結月「ん何?」

燐子「結月ちゃん今日1日言うことを聞いてもらつて、いいですか」

？」

結月「いいよ今日は燐子の誕生日だからね」

燐子「ありがとうございます結月ちゃん♪」

紗夜「羨ましいです白金さん」ハイライトオフ

友希那「燐子羨ましいワネ」ハイライトオフ

リサ「燐子羨ましい1日結月にイウコトイエテイイナ燐子」ハイライトオフ

あこ「りんりんイイナ」ハイライトオフ

燐子「じゃあ結月ちゃん、私に抱きついてください」

結月「燐子これでいい？」ギュー

燐子「はい大丈夫です、私今とても幸せです」ギュー

結月「はは、幸せならなによりだよ」

友希那「燐子羨ましいわね私も誕生日の時に私もやつてもらおかしら」

紗夜「今井さん引き続き白金さんですか、私も結月さんをお願いしてみようかしら」

リサ「まあアタシも結月にやったことあるけど、やつば羨ましいな」

あこ「りんりんいいな、あこも誕生日時結月姉やつてもらおうと」

燐子「じゃあ結月ちゃん次は私と一緒に、次のライブの衣装を作るために、一緒にショッピングモール行きましょう」

結月「いいよ」

燐子「じゃあ結月ちゃん早く行きましょう♪」ギュー

結月「分かったから腕に抱きつかないで」

燐子「結月ちゃん今日私の誕生日だから言うこと聞いてくれるんだよね」ハイライトオフ

結月「抱きついていいからハイライト元に戻してー」

りんりんと結月ちゃんのショッピングデート？は割愛させてもらおうよ

b y 作者

燐子「結月ちゃん今日はとっても楽しい一日になりました」

結月「なら良かったよ」

燐子「結月ちゃんこれからも仲良くしてください」

結月「うんこちらこそ」

燐子「じゃあ結月ちゃん今日私の家に泊まりに来てください、拒否権はありませんよフフ」

結月「はいはい分かったよ燐子お嬢様」

燐子「分かればいいんですよ結月ちゃん」ニコ

その後燐子は凜からお菓子を貰った凜いわくいつものお礼だと言
う

友希那の誕生日

結月リサ 紗夜 燐子 あこ 「「友希那(さん)(湊さん) 誕生日おめでとう(ございます)」」

友希那 「ありがとうみんな」

リサ 「友希那これはアタシと紗夜からだよー」

紗夜 「気に入ってもらえると嬉しいのですか」

友希那 「これは結月の写真集かしら？」

リサ 「そうだよ、紗夜と一生懸命に作ったんだよまあアタシも持つてるんだけどね♪」

紗夜 「湊さん気に入ってもらえましたか？私も自分用に作ったんですけどね♪」

友希那 「ありがとうリサ 紗夜とっても嬉しいわ」

結月 「まず言いたいことがあるんだけどいいかな、紗夜とりサ」

リサ と 紗夜 「なに(何ですか) 結月(さん)」

結月 「何で二人はさ、私の写真集を勝手に作ってんのかな」ニコニコ

リサ 「それりやあ勿論誰もが喜ぶものをつくっただけだよ結月」キラ

紗夜 「結月さん何当たり前のことを聞くんですか？、そんなの湊さんが喜ぶのを作ったにすぎませんけど何か」キラ

結月 「そっかそっかで二人とも本音は？」

紗夜 とりサ 「「そんなのきまってる(じゃあないですか)アタシ(私)が欲しいからに決まってるじゃあないですか」

結月 「まあ友希那はいいよ、今日誕生日だからね、二人とも私もその写真見たいから見せて」

リサ と 紗夜 「「ええいいけど(ですけど) はいこれ(です)」」

結月 「ありがとうじゃあこれ捨てるね」ニコ

紗夜 とりサ 「「ああアタシ(私)の宝が」」

結月 「ふうこれでよし」

燐子 「友希那さん、、、これは私と、、、あこちゃんで、、、作りまし

気に入ってもらえましたか？」

あこ「大丈夫だよりりんきつと気に入ってくれるよ！」

友希那「これは私たちRoseliaと結月の写真かしら？」

燐子「そうです、その写真はみんなの思いでの写真、なので」

あこ「友希那さん気に入ってもらいましたか？」

友希那「ええ、とっても気に入ってわ、ありがとう燐子あこ」

燐子「気に入ってもらえて、良かったです」

結月「友希那はい私からだよはい」

友希那「これはピアスかしら？」

結月「そうピアス、そのピアスは私のと違う色だけど、おそろいだよ」

友希那「ええとつても嬉しいわ結月大好き♡」抱き

結月「喜んでもらえたなら良かったよ」ニコ

友希那「結月私も燐子やりサみたいに一日私の言うことを聞いてくれるかしら？」

結月「いいよ、聞いてあげる」

友希那「じゃあまず私に抱きついて結月♡」

結月「分かったこんな感じでいいかな？」ギョッ

友希那「ええイイ感じよ結月」

リサ「友希那いいな羨ましい」ハイライトオフ

燐子「友希那さん羨ましいです」ハイライトオフ

紗夜「湊さん羨ましいです、結月さん私にもやってくれるかしら」ハイライトオフ

あこ「友希那さんいいなーりんりんとリサ姉に引き続き友希那さんもいいなー」ハイライトオフ

友希那「結月今度は私に膝枕して」

結月「はいはい分かったお出で友希那」ニコ

友希那「いい感じよ結月♡」

リサ「友希那ズルい」ハイライトオフ

紗夜「ええ今井さんの言う通りです」ハイライトオフ

燐子「友希那さんいいなズルいズルい」ハイライトオフ

あこ「友希那さん羨ましい」ハイライトオフ

友希那「結月今日家に泊まるは、勿論拒否権はないわ」

結月「今日は友希那の言うことを聞くよ」

友希那「結月今日はいいい一日を過ごせたわありがとう」

結月「そうなら良かったよ」

友希那「お休みなさい結月」

結月「うんお休み友希那」

凜は友希那に結月と猫が一緒に写ってる写真をあげた